

伝統的な左官工法が水で洗い出す必要がなく再現
強度に優れた土間仕上げ仕上げ材料

ラストンシリーズ

TAKUMI

洗い出し

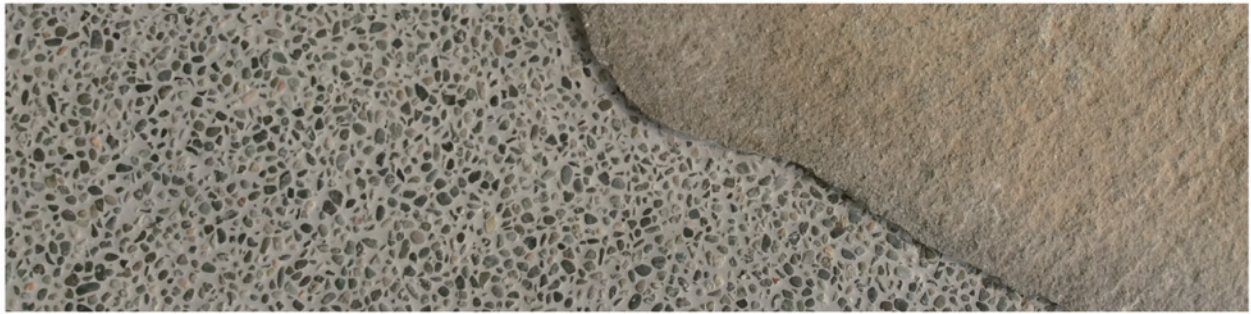
匠

石とカラーモルタルの組み合わせで、建物を選ばない床材
従来の樹脂舗装に比べて、強固で優れた耐久・対候性を持ち、
厳しい自然環境にも対応

洗い出し

匠

TAKUMI



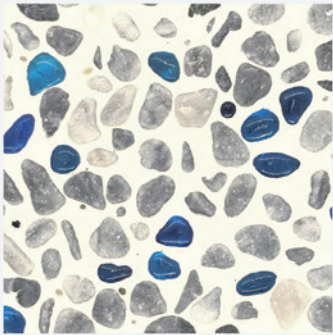
天然石の自然な質感と風合いを豊かに表現する左官技法として、歴史的な建築物や近代建築物など、和風、洋風問わず幅広い用途で採用されている意匠仕上げです。

天然石を種石(骨材)としてモルタルに混ぜ鏝塗りのち、完全に硬化する前にその表面をスポンジで拭き取り、自然な風合いを再現します。均質な工業製品にはない豊かな表情を創り出す工法です。

混入する種石の種類やモルタルの色によってさまざまな表情を出すことができ、独特の品格や存在感が得られ、種石が高品質な骨材としての機能を持つため、乾燥収縮によるひび割れに強く、セメント以上に耐久性が高く防火性にも優れています。日本では高級建築の玄関床、玄関通路、庭などに数多く見られる工法です。

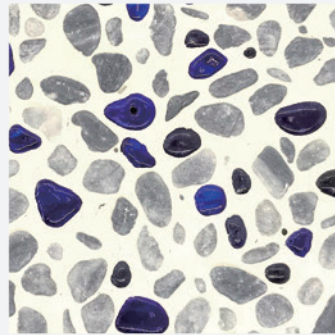


■ アッシュ ホワイト Ash White



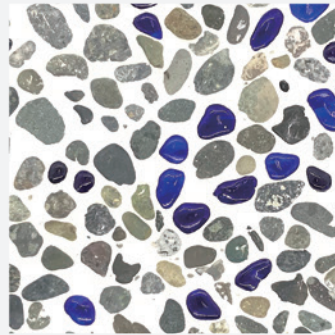
ビーズ入り

AB-11W



ビーズ入り

AB-12W



ビーズ入り

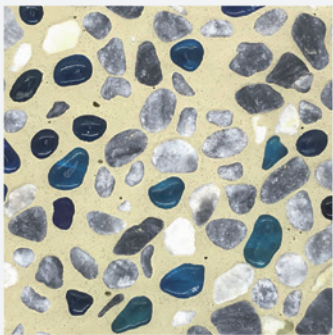
AB-13W



ビーズ入り

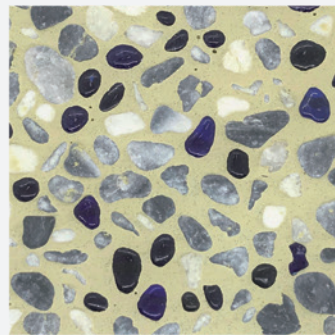
AB-14W

■ コーン ベージュ Corn · Beige



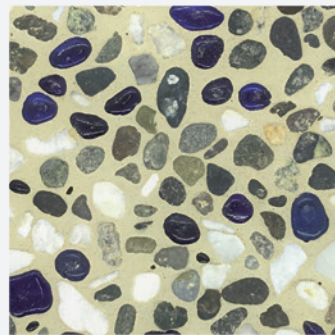
ビーズ入り

AB-11B



ビーズ入り

AB-12B



ビーズ入り

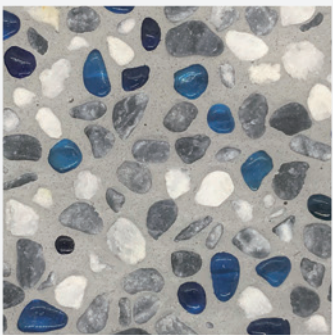
AB-13B



ビーズ入り

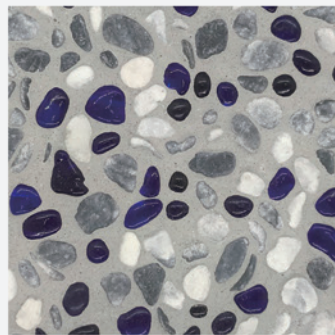
AB-14B

■ ロシアン グレー Russian Gray



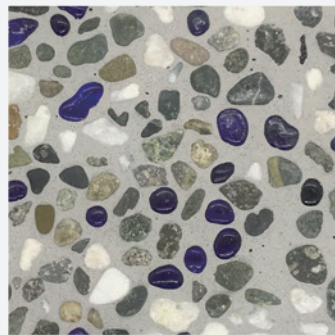
ビーズ入り

AB-11G



ビーズ入り

AB-12G



ビーズ入り

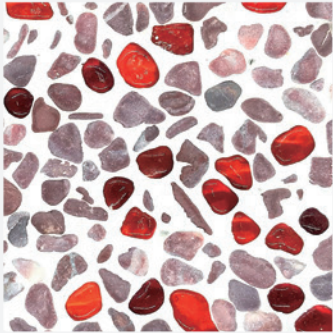
AB-13G



ビーズ入り

AB-14G

業界最多の豊富なバリエーション



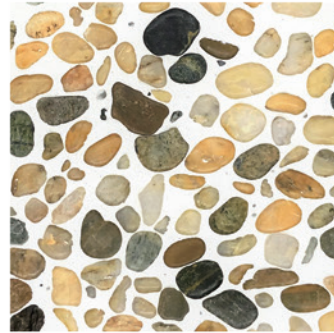
ビーズ入り

AB-15W



ビーズ入り

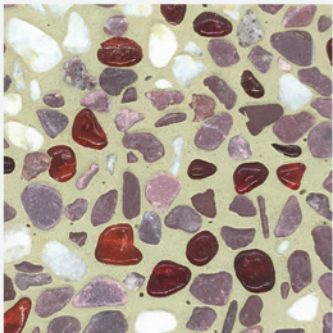
AB-16W



A-17W

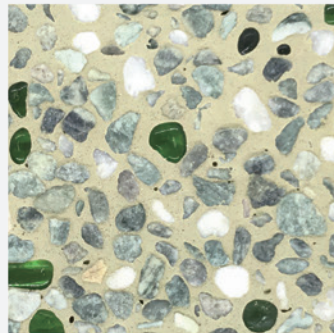


A-18W



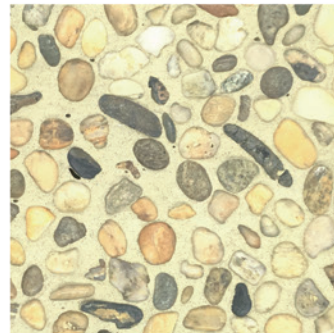
ビーズ入り

AB-15B

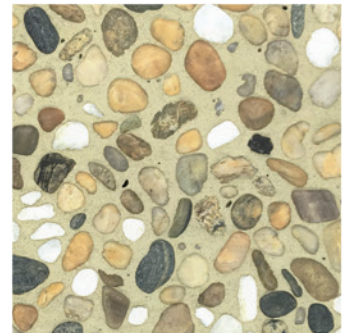


ビーズ入り

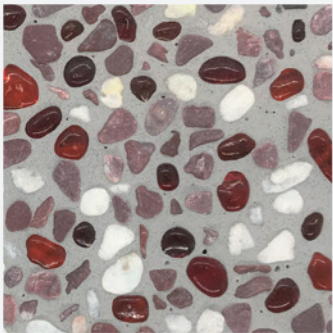
AB-16B



A-17B

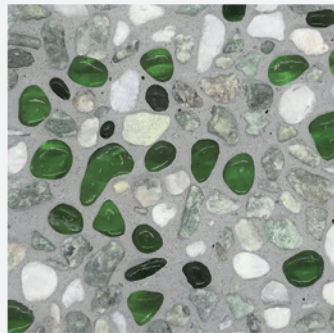


A-18B



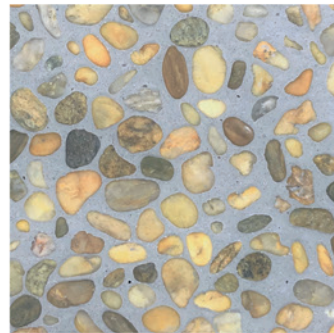
ビーズ入り

AB-15G

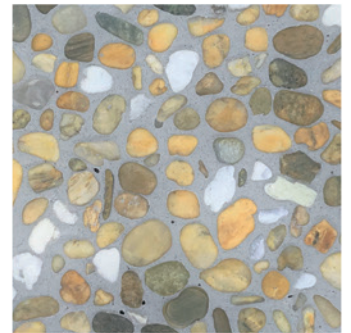


ビーズ入り

AB-16G



A-17G



A-18G

ラストン 匠

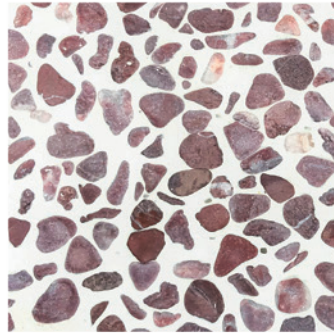
洗い出し



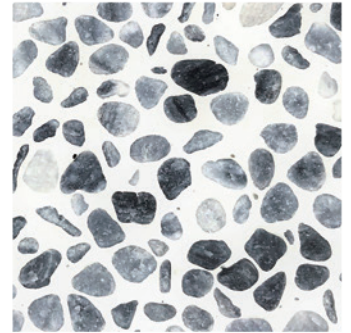
A-19W



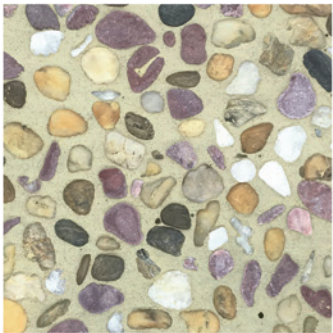
A-20W



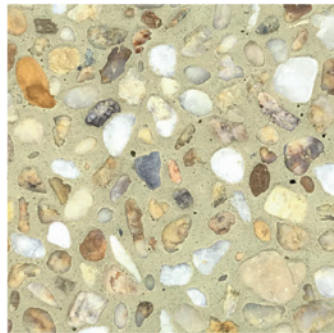
A-21W



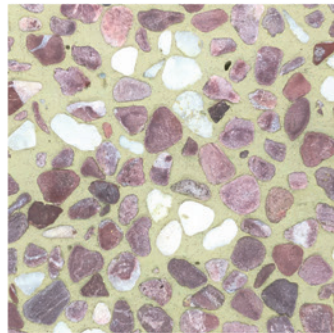
A-22W



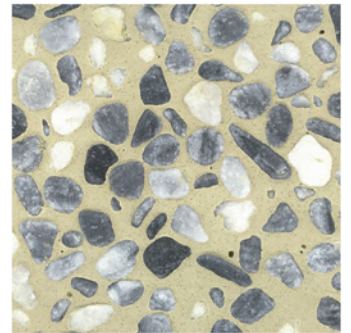
A-19B



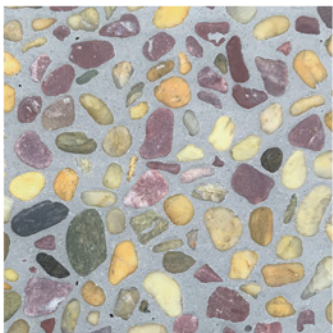
A-20B



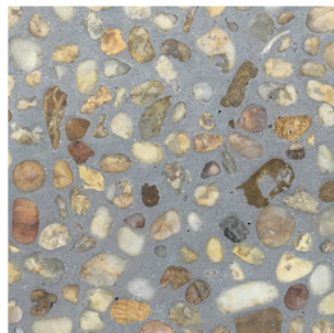
A-21B



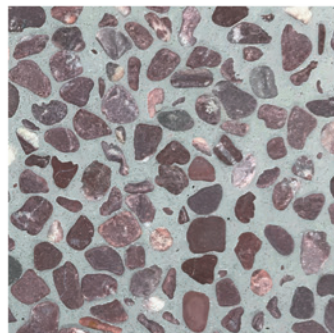
A-22B



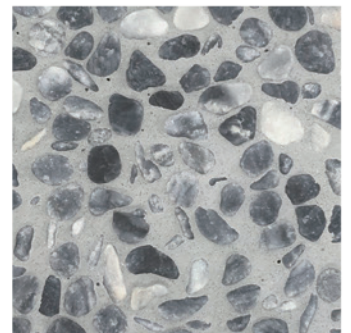
A-19G



A-20G



A-21G



A-22G

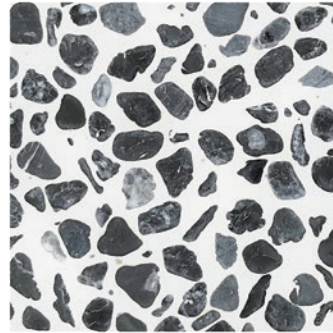
48 pattern



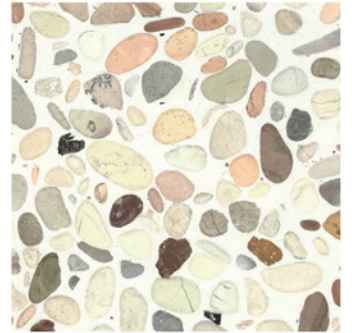
A-23W



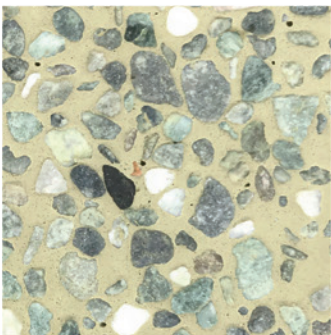
A-24W



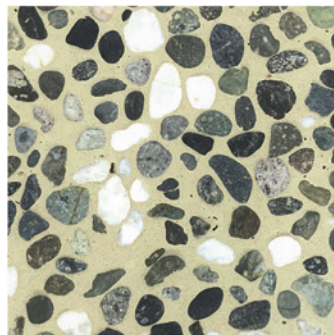
A-25W



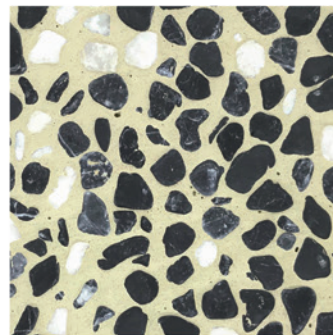
A-26W



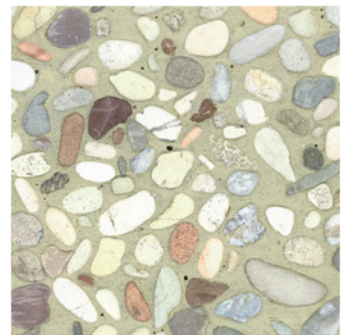
A-23B



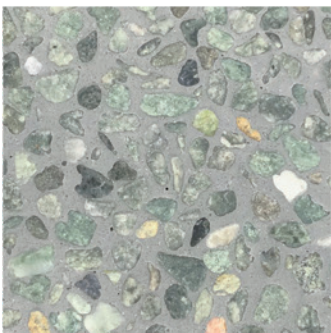
A-24B



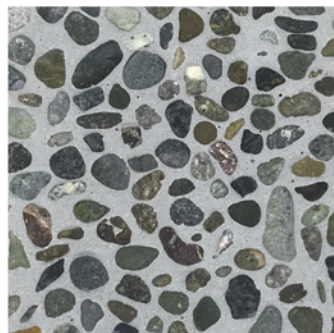
A-25B



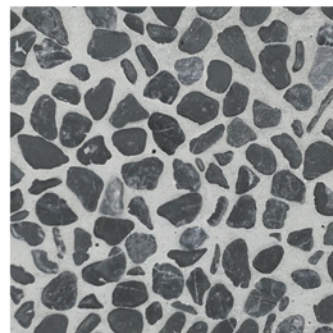
A-26B



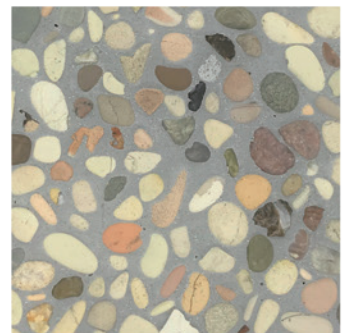
A-23G



A-24G



A-25G



A-26G

適用下地

モルタル・コンクリート 木罫仕上げ
※定規等で下地を平坦にしておく事

練り方

◆モルタルミキサー（錆は取り除いておく事）

- ①ミキサーに種石を入れます。
- ②匠モルタルと色粉を入れ、軽く空回しします。
- ③水を約 3ℓ 入れ攪拌（かくはん）します。
- ④練り置きし、再度攪拌して下さい。

◆ハンドミキサー（低速・プロペラ型推奨）

- ①容器に水を約 3ℓ 入れ匠モルタル・色粉を投入し良く攪拌します。
- ②ダマが無くなったら種石を入れよく混ぜます。
- ③練り置きし、再度攪拌して下さい。

※材料は攪拌後練り置きをして下さい。

※容器はアクや錆が出ない物を使用してください。

※ビーズ入りを使用する際はビーズが割れない様に注意して混ぜて下さい。

(1)下地処理

- ①ゴミ・埃・レイタンス等が無いように掃除します。
- ②HS モルボン（モルタル吸水調整剤）3 倍液を塗布し、乾燥させます。



(2)塗り付け

- ①石が転がらない様に、平滑に規定の厚みに塗り付けて下さい。
- ※直射日光や気候、下地の影響でしめる時間が変わります。



(3)水打ち・押さえ

- ①適度にしまったら刷毛で水打ちしながらコテで押さえ、石とセメントの表面を平滑に揃えます。



(4)水打ち・アマ取り

- ①石が転ばない程度にしまったら、水刷毛でアマをやわらかくし、石の頭がわかる程度に刷毛でアマを取って下さい。
- ☞塵取り等でアマ取りをすると作業しやすくなります。

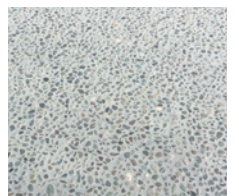


(5)仕上げ拭き取り

- ①水切りしたスポンジで、石を均一に出し、拭きムラが出ない様に仕上げして下さい。深く拭き取りすると、石が取れ易くなります。
 - ②セメントが硬化したら、ウエス等で乾拭きします。
- ☞水分が残ったままだと白華する事があります。しっかり乾拭きする事がポイントです。



(6)完成



 畑中産業株式会社

本社

〒635-0093 奈良県大和高田市磯野469-2

TEL / 0745-52-5060

FAX / 0745-52-9010

東京営業所

〒353-0001 埼玉県志木市上宗岡3丁目17番8号

TEL / 048-472-2809

FAX / 048-472-4309

<http://www.e-hatanaka.com>

info@e-hatanaka.com

■販売店

